

(一) 宣 言

茲に第十六回メーデーを迎へ我等の所信を素直に宣言する。
 國家主義の流行的皮肉時流に類ひ國際情勢の動向と日本百年の大計
 を遊離し待さる鎖國的日本主義者乃至獨善的孤立主義者は徒なる言
 の交國運動を喧嘩するのみにて内外共に混沌たる日本の非常時局を
 突破する根本問題の解決に對しては無力である。メーデーを通じて
 我等は健全なる労働組合主義の大道のみか眞に日本の將來と國家産
 業の發展を導く唯一の道なりと確信して居る。軍備インフレのカン
 フル注財を以て辛くも余命をつないでゐる資本家階級は依然として
 我利第一の營利經營に没頭し膨入なる利潤を収めつつあるにも不拘
 國家産業の前途には全く無關心にして健全なる労働組合が報國産
 業精神の建前から國家産業の發展平和に協力する赤誠を披瀝して日
 夜不撓の努力をなし來れる事實を無視し労働階級の自主的團結權を

頑迷に否認し續け壓制的労働強化に次ぐ強化労働時間の無軌道的延
 長實質賃金の低下災害件数の激増等の労働者に對する封建的奴隷視
 態度を以て健全なる労働組合の産業協力運動に應へるのみであつた
 我等は國家産業の爲堪へ得ざるも堪へ忍ぶべからざるを忍んで來た
 然るに資本家階級の態度は國家産業の前途に一日たりとも許すべか
 らざるものがある我等は茲に隱忍自軍の守勢の方針を放棄し私利私
 慾以外眼中に國家産業なき頑迷無理解なる資本家に對しては猛烈政
 勢へ轉じ報國産業精神の立場から斷乎たる膺懲の聖戦を他水の間に
 相見ゆる事とせず國家産業の健全なる維持發展の爲飽く迄労働階
 級の生活を向上伸張せしめねば堪まざる決意を茲に第十六回メー
 デーを期し萬國の労働階級と相呼應して内外に宣揚する

右宣言す
昭和十年五月一日

日本労働組合會議九州地方協議會